

第2期まち・ひと・しごと創生大分県総合戦略の概要

ポイント

▶ 大分県版地方創生

- ・急速な少子高齢化・人口減少の進行を、県民の結婚・妊娠・出産・子育ての希望の実現、若者の流入・定着など自然増・社会増の取組により歯止めをかけていく
- ・計画期間は、2020年度(令和2年度)から2024年度(令和6年度)までの5年間とする

大分県人口ビジョン

I 現状及び人口推計

2019年：113.4万人
2100年：45.8万人

※H30社人研推計に準拠し独自推計

II 目指すべき将来の方向性

- ①自然増(合計特殊出生率)仮定値 ②社会増仮定値
2030年に2.0(県民希望出生率) 2025年 社会増減均衡

2100年(今世紀末)までには増加に転じ、90万人から100万人程度の人口を維持

基本目標

- 1 人を大事にし、人を育てる
- 2 仕事をつくり、仕事を呼ぶ
- 3 基盤を整え、地域を活性化する

主な新規・拡充

人を大事にし、人を育てる

- ①子どもを生み育てやすい環境づくりや健康長寿の社会づくり
子育て満足度日本一
・出会いサポートセンターの充実、不妊治療費・保育料への助成制度の充実
健康寿命日本一
- ②多様な人材の活躍の促進
高齢者の活躍と地域包括ケアシステムの構築
障がい者雇用率日本一
人材の確保・育成
・高校生・大学生など若年者の県内就職促進
・インターンシップマッチングサイトを活用した県内企業の就業体験の機会充実
- ③女性が輝き、存分に活躍する社会の構築
女性の活躍推進
・企業等と連携した意識改革・環境整備の推進
・男性の子育て参画を推進する取組の充実
- ④将来の担い手となる子どもの教育の充実
「教育県大分」の創造
・ICTを活用した教育の推進
・各学校段階に応じたキャリア教育・職業教育充実

仕事をつくり、仕事を呼ぶ

- ①農林水産業や商工業、観光・ツーリズムなど、様々な分野に働く場の確保
農林水産業における構造改革の更なる加速
・水田の畑地化による園芸品目等への生産転換
・スマート農林水産業の実現
マーケットインの商品づくりと担い手の確保・育成
・新規就業者の確保に向けた研修制度の拡充
チャレンジする中小企業と創業の支援
・成長志向ベンチャー起業家の集中支援
先端技術への挑戦
～大分県版第4次産業革命「OITA4.0」の推進～
・遠隔操作ロボット「アバター」や次世代モビリティサービスなど先駆的なプロジェクトの推進
・宇宙関連産業への挑戦
・5Gなど革新的な情報通信基盤の整備
未来に向けた戦略的・効果的な企業立地の推進
・IT企業のサテライトオフィスや先端技術関連企業の誘致
・研究開発部門など本社機能の誘致促進
ツーリズムの推進と観光産業の振興
・デジタルマーケティングを活用した誘客
・観光産業の経営力強化

基盤を整え、地域を活性化

- ①住み慣れた地域に住み続けたいという住民の思いを叶える地域づくり
つながりを実感できる地域共生社会の実現
・地域子育て支援拠点や子ども食堂、高齢者サロンなどにおける多世代交流活動の推進
ネットワーク・コミュニティの構築
・生活交通の確保・維持
- ②特徴ある地域資源の活用による地域活性化
・移住者や地域おこし協力隊員、外国人等、多様な人材の視点を活用した地域活性化
- ③UIJターンの促進
・福岡市中心部に設置する拠点施設を活用した女性・若者、県外の非正規雇用者などへのUIJターン促進
・ふるさとワーキングホリデー等、関係人口の創出
- ④広域交通網など地域間競争の基盤整備
九州の東の玄関口としての拠点化
・大分空港への海上アクセス実現に向けた取組
広域交通ネットワークの整備推進
- ⑤防災など地域の安全性・強靱性の向上
県土の強靱化の推進

主な重要業績評価指標(KPI)

「ひと」…合計特殊出生率(2025年:1.83、2030年:2.0)、出生数(2025年:9000人程度)、健康寿命日本一、全国に誇れる教育水準
「しごと」…15～69歳就業者数、農林水産業への新規就業者数、企業誘致件数
「地域」…人口の社会増減(2025年:均衡)、ネットワーク・コミュニティ構成集落数、大分市中心部までの60分到達可能地域割合